

SEK 大阪支社長が直前横断！

仕業検査車両所やSEKの点呼で、「9月2日に仕業庫0番線で、直前横断が発生した」ことが明らかにされました。

会社は今まで、直前横断防止のために様々な対策を重ねてきました。最近では、仕業庫4番線付近にカメラが設置されたばかりです。

今回、直前横断を行ってしまったのは、SEKの大阪支社長です。過去には、JRの管理者も直前横断をやりました。また、詰所からヘルメットもかぶらずに飛び出した管理者もいました。

今回、直前横断をしてしまった支社長は常日頃から、「我々は社員を管理・指導する立場である」と思われているのですが、今回の事態は、それに反する事態です。

直前横断の問題は、現場の社員だけでなく全社員の生命に関わる重大な問題です。曖昧にはいけません。

知らなかった？ 確認しなかった？

今回、直前横断が発生した場所は、庫0番線です。1番線側から横断する際、0番線の停止線からは、洗浄線がほとんど見えません。そのことを知っているJRと関連会社の社員は、1番線を横断する際に0番線への入庫列車の状況を確認します。SEKの大阪支社長は、まさか、そのことを知らなかったのか？ならば、0番線の洗浄線をどうやって確認したのか？まさか、確認しなかったのか？それとも、洗浄線まで電車が来ていても大丈夫だと思っていたのか？

はっきりさせなければなりません。

直前横断防止対策を共有しよう！

あらたに設置されたカメラに、今回の直前横断の一部始終が録画されているはずですから、何故このような事態が発生してしまったのかをしっかりと検証して、問題点と改善すべきことを明確にして、上司とか部下は関係なく、車両所に働く全社員で、直前横断防止対策を共有しなければなりません。